

神道史学会総会資料

令和2年6月14日（日）

- ① 令和元年度事業報告
- ② 令和元年度収支報告
- ③ 令和2年度事業計画（案）
- ④ 令和2年度予算（案）
- ⑤ 会則の変更
- ⑥ その他

〈令和元年度事業報告〉

1、『神道史研究』第67巻 第1号、2号 発行

【第67巻 第1号】 令和元年5月発行

〔論考〕

幕末国学と孔子—竹尾正胤の『魯叟孔丘弁』を中心として— 松浦 光修
吉田神道、三壇行事の式次第形成に関する一試論—宗源神道行事に於ける密教の要素を中心として—
田井 健治

〔新刊紹介〕

角鹿尚計著『由利公正—万機公論に決し、私に論ずるなかれ』 豆多 真空

追悼 田中卓先生

【第67巻 第2号】 令和元年10月発行

〔論考〕

内侍所の神鏡奉遷に関する一考察 佐野 真人
大嘗祭の神饌に関する一考察—神今食・新嘗祭との比較から— 木村 大樹
崎門学派に於ける実と真—竹内式部の「義絶」を通じて— 大貫 大樹

〔研究ノート〕

出雲国の神宝検校について 廣瀬 明正

〔資料紹介〕

長野義言『毎朝神拝正語』と篤胤—解題と翻刻 浦野 綾子

〔書評〕

「国家神道」研究の新たな「混迷」への危惧—二本の藤田大誠論文を中心に—
新田 均

多田實道著『伊勢神宮と仏教—習合と隔離の八百年史—』 坂口 太郎

〔新刊紹介〕

高埜利彦著『日本史リブレット 86 江戸時代の神社』 谷戸 佑紀

2、第65回神道史学会大会 於 皇學館大学

令和元年6月1・2両日開催

6月1日(土)

〔調査見学会〕

皇學館大学佐川記念神道博物館 特別展「即位礼と大嘗祭」

6月2日(日)

〔研究発表〕 会場 皇學館大学431教室

大嘗祭の由加物	京泉 勇平 (皇學館大学大学院生)
大嘗祭における御饌・御贄に関する一考察	塩川 哲郎 (國學院大學研究開発推進機構PD研究員)
大嘗祭の神饌に関する一考察—神今食・新嘗祭との比較から	木村 大樹 (國學院大學研究開発推進機構PD研究員)
近世の御禊	岡本 和真 (皇學館大学大学院生)
内侍所の神鏡奉遷に関する一考察	佐野 真人 (皇學館大学助教)
近代皇位継承儀礼に関する一考察	藤田 大誠 (國學院大學教授)
新嘗御祈考—鈴鹿家所蔵「新嘗祭御祈宗源殿図」—	加茂 正典 (皇學館大学教授)

3、学会ホームページの運営

〈令和元年度収支報告〉

《収入の部》

科 目	金 額	備 考
会 費	¥1,406,500	普通会員・特別会員年会費
雑 収 入	¥10,000	協賛金ほか
大会参加費	¥378,000	見学会53名・懇親会50名・大会74名
前年度繰越 支払資金	¥2,104,010	
計	¥3,898,510	

《支出の部》

科 目	金 額	備 考
印 刷 費	¥1,124,000	『神道史研究』第65巻第1、2号印刷、封筒印刷
通 信 費	¥83,543	学術誌発送・事務通信
大会経費	¥617,050	講演講師謝金・玉串料・懇親会費・昼食ほか
旅 費	¥0	出張旅費
会 費	¥10,000	日本宗教研究諸学会連合会費
雑 費	¥15,845	HP作成費、文具購入ほか
人 件 費	¥10,000	英訳者謝礼・アルバイト代等
翌年度繰越 支払資金	¥2,038,072	
計	¥3,898,510	

令和2年6月1日

神道史学会の令和元年度の収支については、監査の結果以上の通り相違ありません

会計監査

白山 芳太郎



橋 森 馨



〈令和2年度事業計画（案）〉

1、『神道史研究』第68巻 第1号、2号 発行

【第68巻 第1号】 令和2年5月発行、同8月発送予定

2、第66回神道史学会大会

令和2年6月13・14両日、熱田神宮において開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホームページ上にて研究発表と総会を行うことに変更する。

〔研究発表〕

竹内式部の天皇観—桃園天皇への『日本書紀』御進講の「目的」—

物忌の名義からみる内宮相殿神の役割	大貫 大樹（國學院大學大学院生）
平泉史学における人間存在—歴史を貫く冥々の力—	紀ノ崎 剛（神道史学会幹事）
出雲国造神賀詞奏上儀礼の変容とその後	谷口 太一（皇學館大学大学院生）
三輪田高房の鎮魂伝授について	中山 さら（國學院大學大学院特別研究生）
中世後期の松尾社祠官について	新田 惠三（皇學館大学大学院生）
	野村 朋弘（京都造形大学准教授）

〈令和2年度予算(案)〉

《収入の部》

科 目	金 額	備 考
会 費	¥2,082,000	普通会员(259名)・学生会員(24名)・特別会員(46社)
大会参加費	¥0	新型コロナウイルスのため開催せず
雑 収 入	¥5,000	預金利息・分冊代金等
繰 越 金	¥2,038,072	前年度繰越支払資金
計	¥4,125,072	

《支出の部》

科 目	金 額	備 考
印 刷 費	¥1,550,000	『神道史研究』・封筒・振替用紙等
通 信 費	¥130,000	学術誌発送・大会案内・事務通信等
大会経費	¥0	新型コロナウイルスのため開催せず
旅 費	¥100,000	出張旅費
会 費	¥10,000	令和2年度日本宗教研究諸学会連合会会費
雑 費	¥319,000	HP維持費・文具購入・他誌購読料・玉串料等
人 件 費	¥15,000	英訳者他謝礼等
繰 越 金	¥2,001,072	翌年度繰越支払資金
計	¥4,125,072	

神道史學會会則の変更について（案）

代表の交替に伴い、事務所を令和元年六月二日に遡って変更する。

（新）

（第一条同文のため省略）

第二条（事務所）

本会の事務所は、皇學館大学 河野訓研究室
に置く。

（第三条より第十二条まで同文のため省略）

附則 本会則は、平成二十五年六月二日から
施行する。

附則 本会則は、令和元年六月二日から施行
する。

（旧）

（第一条同文のため省略）

第二条（事務所）

本会の事務所は、皇學館大学 清水潔研究室
に置く。

（第三条より第十二条まで同文のため省略）

附則 本会則は、平成二十五年六月二日から施行する。